

《セミナー》

タンパク質の発現解析から分子間相互作用そして細胞内機能解析へ

科学分析支援センター 畠山 晋

開催日:平成20年11月26日(水)

ご協力:GE ヘルスケア バイオサイエンス株式会社

出席:32名

内容:「タンパク質発現解析～プロテオミクスの実際～」,「分子間相互作用解析 ～ Biacore テクノロジーを用いた研究の現状～」,「細胞機能の定量的解析 ～蛍光イメージングからタイムラプス解析～」の3つのトピックについてのセミナーを, GE ヘルスケア バイオサイエンス株式会社様のご協力をいただいて開催しました. ライフサイエンス研究の基盤技術Biacore テクノロジーの現状, 様々な条件において検出された細胞の蛍光イメージの“定量的”な解析を中心に, “タイムラプス”測定技術を用いた生細胞の蛍光イメージ定量解析, 近年注目を浴びている“High Content Analysis”技術に関して解説していただきました.



科学分析支援センター
バイオサイエンスセミナーのおしらせ

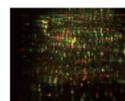


タンパク質の発現解析から分子間相互作用そして細胞内機能解析へ

- 日 時 : 2008年11月26日(水) 13:00～16:00
- 場 所 : 科学分析支援センター3F 会議室
※ セミナー資料の準備の都合上, 事前の参加申し込みをお願いします
- 講 師 : GE ヘルスケア バイオサイエンス株式会社
梶原 大介氏, 難波 紀子氏

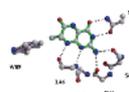
1. タンパク質発現解析 ～プロテオミクスの実際～

一時期のプロテオミクスブームにより, メジャーな生命現象や病態に対するプロテオーム解析が試みられてきました. 然るに, 今後はより新規性の高いタンパク質ターゲットを発見することが, 比較にならない程の価値もつようになるでしょう. 本セッションでは, プロテオーム解析の現状とタンパク質発現解析のテクニックに関してお話しします.



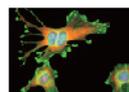
2. 分子間相互作用解析 ～Biacore テクノロジーを用いた研究の現状～

分子間相互作用解析は, 特定分野にとらわれずライフサイエンス研究の基盤技術として非常に重要です. SPR 技術を応用した Biacore テクノロジーは, 分子間相互作用解析技術として広く活用され, 様々な新発見や新技術の開発に貢献しています. 旧 Biacore 社は2008年よりGE ヘルスケア バイオサイエンスと統合し, 「生体分子間の相互作用解析」だけでなく, ライフサイエンス研究全体を総合的にサポートできるようになりました. 本セッションでは大学及び製薬会社における使用目的, 研究手法を中心に最新のBiacore テクノロジーの現状をご紹介します.



3. 細胞機能の定量的解析 ～蛍光イメージングからタイムラプス解析～

蛍光技術の急速な発展によって, 細胞の機能解析において蛍光標識技術が幅広く用いられるようになりました. この技術によって特定の分子の動きや特定のオルガネラの変化などを観察することが可能になりましたが, これまではイメージを“観察”するに留まっていた. 本セッションでは, 様々な条件において検出された細胞の蛍光イメージを用いた“定量的”なデータ解析を中心に, “タイムラプス”測定技術を用いた生細胞の蛍光イメージ定量解析と, 近年製薬企業を中心に広く注目を浴びている“High Content Analysis”技術に関して述べさせていただきます.



セミナーお申し込み: 科学分析支援センター 内5102
お問い合わせ先: 畠山 内4346